

地方創生 2.0 により、多様な価値観に
合った個性的な地域の創造を目指す

内閣総理大臣代理 内閣官房副長官 青木 一彦

全国町村長大会が本日盛大に開催されますことをお
慶び申し上げます。町村長の皆様には、日頃から地域
社会の発展や住民福祉の向上に取り組んでいただい
ておりますことに、心から御礼を申し上げます。

本年も能登半島での地震や豪雨など、各地で自然災
害が相次いでおり、近い将来には首都直下地震、南海
トラフ巨大地震などの発生も懸念されております。被
災者の方々の生活環境の改善や、早期の復旧復興に、
国として責任を持って取り組むとともに、防災庁の設
備準備も着実に進めながら、平時からの備えとしての
事前防災を強化してまいります。

石破内閣は地方を守る政権です。地域そのものが消
滅する、いわば静かな有事が起きている中、地方創生
を巡るこれまでの成果と反省を生かし、次の 10 年間
を地方創生 2.0 として再起動いたします。

このために着目しているのが地方に眠っている潜在
力です。日本の社会経済の停滞を打ち切る、打ち破る

起爆剤は中央だけにあるわけではありません。農林水産業、製造業、サービス産業、その持てるポテンシャルを眠ったままにしてきた、地方の産業こそがこの起爆剤になりうるのです。国の一律の指導ではなく、1718市町村が主役となって、その地方の生産力の向上策を各地域のステークホルダーが今一度真剣に考え、多様な価値観に合った個性的な地域を創造していただきたいのです。

ボトムアップの地方のアイディアを後押しするために、現在取りまとめ中の経済対策には、地方創生施策の展開、賃上げ環境の整備、成長力に資する国内投資の促進、ハード・ソフト両面での防災機能の充実などの取り組みを盛り込んでまいります。

今後とも、町村長の皆様とよく連携をして、国民の皆様の納得と共感をいただきながら、全ての人に安心と安全をもたらす社会を実現し、豊かな日本を再構築するという強い覚悟のもと、日本の未来を作り、守り抜いてまいります。

結びに、全国町村会の益々のご発展と、本日まで出席の皆様の一層のご活躍を心から祈念して、挨拶とさせていただきます。